



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人 友愛

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文天ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会費(4月～3月)
個人／3,000円以上
法人／10,000円以上

写真：富士山
撮影：鳩山由紀夫

若者の育成を喫緊の課題として

理事長 鳩山由紀夫

明けまして

おめでとうございます

機関紙「友愛」の読者のみなさま、令和になつて初めてのお正月はいかがお過ごしでしたでしょうか。

私どもは令和を迎えるに当たり、昨年は大きな衣替えを行いました。

まず、念願の公益法人化が認められて、一般財団法人友愛（旧日本友愛協会）は公益財団法人友愛となりました。

友愛の理念を世界に広めると言う事業は、元々世界平和につながる公益事業と理解していましたが、友愛の事業の一つひとつに公益性があるか否かの内閣府の厳しいチェックを受け、若者の育成に関わる国際交流事業などが公益事業として認定されました。

しかし、最も古くから行っていた友愛山荘運営事業を手放さざるを得なくなったことは残念です。ただ、友愛山荘は運営母体が変わっただけで、今までと同様に営業活動をしていますので、研修にでもいかようにでもお使いいただければ幸いです。

人事に関しては、友愛の前身である友愛青年同志会のメンバーとして、直接鳩山一郎から友愛の薫陶を受けた川手正一郎氏が永年務められた常務理事を引退されて最高顧問となりました。

川手最高顧問は鳩山一郎から「友愛の原点は愛である。愛の原点は利他である」と教わり、その言葉を生命の原動力として活動してきたと述べておられます。私どもはその川手最高顧問から友愛の何たるかを教わったものです。

また、川手最高顧問は中国での植林活動には毎回参加しておられたこともあり、中国

政府より名誉ある中国国家友誼賞を受賞されています。

今後さまざまな友愛の事業を、直接間接的にご指導くださるものと期待しております。

悲しいこともありました。永年川手最高顧問と共に友愛活動を牽引してくださった鶴巻克雄最高顧問が亡くなりました。

一昨年の友愛創立六十五周年記念大会には、お元気なお姿で乾杯の音頭を取っていたに、急逝がとても寂しい限りです。

ご冥福をお祈りします。

既に「音羽三羽鳥」のお一人奥田さんも故人となられ（二〇一六年九月二十日ご逝去）、これで創立時からの執行部のメンバーは川手最高顧問お一人となつてしまいました。

新たな公益財団法人友愛の現執行部には、元友愛塾生や元国会議員などの方々には、理事に加わっていただきましたので、理事会がかなり若返ったことは有難いことでした。

若い理事たちにはそれぞれ事業を担当してもらうことにしましたので、事業の遂行にも新しい発想が生まれてくるのが期待できそうです。

さらに特筆すべきは、ÖJAB（オーストリア勤労青年連盟）・中国への派遣事業など国際交流事業や、友愛国際写真コンクール、小論文コンテストなどの事業の実施に、優秀な大学生たちが参加してくださるようになったことです。

彼らが友愛活動の実践を通じて、友愛の重要性を理解してくれるとき、友愛は新たな展

開が可能になるのではないかと信じます。

その意味において、一〇年間も途絶えてしまいましたが友愛塾を再開させて、友愛を理解し実践してくれる若者たちを育成することが喫緊の課題であると強く感じます。

最後に新事業の展開の期待について述べたいと思います。

私はその訪問の全てが、公益財団法人友愛の理事長としての活動ではありませんでしたが、昨年は二十五回の訪中、一〇回の訪韓をいたしました。お蔭さまで日中関係は経済や文化を軸に改善されてきましたが、日韓関係は戦後最悪と言われるほど厳しい状態が続いています。

幸いなことに私は釜山大学と檀国（タングク）大学で名誉博士の称号をいただきました。私はそれぞれの大学で友愛の理念の話をしました。それなりに関心を示していたいたのではないかと思います。

むしろ険悪な日韓関係をもたらしたのは、日本側に相手を思う友愛精神が欠如しているからのように思えます。

そこで歴史的な事実を学ぶためにも、日本の大学生と釜山大学や檀国大学の大学生の交流を図るプロジェクトを提案します。

どちらがどちらを訪れても良いかと思いますが、百聞は一見に如かずですから、日本が理解を深めるためには日本側が韓国を訪れたほうが効果があるでしょう。

公益財団法人友愛としても、令和の時代に相応しい、若者が期待を寄せる活動を行っていききたいと思います。

二〇二〇年 元旦



第六回 友愛国際写真コンクール 表彰式・展示会開催

友愛・平和・緑・人と自然」をテーマに一万点が鎬を削る
特別附録で受賞作品を紹介・ホームページにカラーで掲示

二〇一九年十二月十一日（水）北京市内の二十一世紀ホテルに於いて、「友愛国際写真コンクール」の表彰式が開催された。本コンクールは第六回目の開催で、公益財団法人友愛と中国国際青年交流センターが主催。当財団にとっても友愛理念の普及という役割を果たすための重要な事業である。ホームページに会場の写真真を多数掲載、ご高覧を！

本コンクールは「友愛・平和・緑・人と自然」をテーマに掲げ、世界各国の人々に「友愛・環境・平和」について再考を促し、友愛理念に基づく国際交流が展開していくことを目的に開催されている。

今回も多く作品が寄せられ、第一審査の後ウェブサイトでの閲覧に供した。ウェブサイトでは、インターネットによる人気投票が行われ、携帯感動賞、携帯クリエーション賞、ネットユーザー賞などの各賞が選ばれた。

更に日中双方の審査員による厳正な審査を行い三八

名の入選作品を選出した。審査員による入賞作品（友愛賞二名・一等賞一名・二等賞三名・三等賞五名・優秀賞十七名・友好参加賞十名）全作品を今号附録にてご紹介しているので、お楽しみいただきたい。

友愛賞は、自然の中の一瞬を捉えた作品と、モノクロで情愛豊かな雰囲気のある作品。開催を重ねる毎に、友愛理念が浸透してきている事を実感させられる。

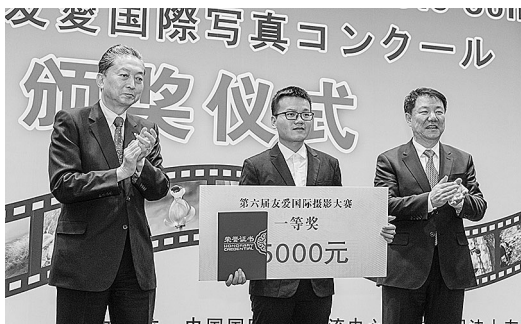
表彰式には、在中国日本大使館渡邊倫幸一等書記官も臨席し、中国国際青年交流中心の馬興民主任と笑顔で語り合いながら壇上に拍手を贈っていた。

隣接して設けた展示会場には、受賞作品三八点を始め、受賞作品三十八点を始め



中国国際青年交流中心馬興民主任（左）と渡邊倫幸一等書記官（右）も友愛と全青連の歴史に注目

本コンクールも六回となり、友愛理念を伝える役割も確立されてきたと挨拶 鳩山由紀夫理事長



一等賞の張伝明さんに鳩山由紀夫理事長から賞状、奇巴園全青連副主席から賞金の目録が授与された



鳩山理事長は、奇巴園全青連副主席（写真中央）とともに作品を鑑賞。笑顔で感想を述べる



受賞者全員・開催関係者一同・式典参加の学生達が舞台上がり、鳩山由紀夫理事長を囲んで全員の記念撮影。指でハートを示し、「ユーアイ」のかけ声とともにハイ笑顔！＝会場の写真などはホームページでご覧になれます＝

め、インターネットによる受賞作品も展示され、見学の人が賑わっていた。鳩山由紀夫理事長も、作品の一点一点をゆつくりと、時には戻って審査員に意見を求めるなど丁寧鑑賞した。

今回も日本側審査員として審査にあたった新藤健一、石渡奈々子の両氏が同行、表彰式に参加し、プレゼンターを務めるなどのご協力をいただいた。



ネットユーザー賞では、中国側十文国審査員（右）と日本側新藤健一審査員（左）がプレゼンターを務める

「私にとって友愛とは」小論文コンテスト 表彰式・講演会開催

川手最高顧問も心を込めてスピーチ
日本からの学生も出席

二〇一九年十二月十日（火）北京語言大学講堂において「私にとって友愛とは」小論文コンテストの表彰式及び「友愛」をテーマにした講演会が開催された。会場には満席状態に学生が集い、鳩山由紀夫理事長、川手正一郎最高顧問の皆さんの論文を拝読し、感動しました。今後とも日本語を、友愛を学んでくださいと鳩山由紀夫理事長



これが皆さんに向けての最後の講演となります。と感無量の面持ちで、川手正一郎最高顧問



講演に聞き入っていた。「私にとって友愛とは」小論文コンテストは、今回が四回目の開催で、対象となる北京語言大学日本語学科の学生（二年生、四年生）から寄せられた小論文を、友愛の外部有識者による選考委員会、北京語言大学教授陣等によって採点し、上位三位までには、奨学金として賞金が授与される。今回は、三位入賞者が四名に増えるなど、力作が揃い、審査員を悩ませた。

今回一位の栄に輝いたのは三年生の任耐安さん。四回目にして初めて男子学生が一位を獲得した。

任耐安さんは、見事な日本語で、一位受賞の喜びをスピーチし、改めてその論旨の確かさ、日本語の見事さを披露した。

会場には日本から参加した学生三名も参加しており、口々に中国の大学生の学ぶ姿勢に「見習わなくては」と刺激を受けていた。本コンテストは、今後も継続して実施され、次々年度は、また新たな大学が対象校となる。＊小論文は、ホームページで閲覧可能。



会場を埋め尽くした学生たち。鳩山理事長の講演の後、活発な質問も寄せられた。毎年これ程多くの学生が日本語を学んでいる事を考えた



日本語で書かれた賞状と賞金・記念品が授与された。一位の任耐安さん（左）も嬉しそう



上堂園遼さん（左）成田葵さん（中）吉田大志さん（右）日本から同行の学生も楽しく参加

中国への派遣学生報告記

アジア・アフリカユースフェスティバル

六九ヶ国 三五〇名の若者が一堂に会して

友愛代表として二名の学生が参加

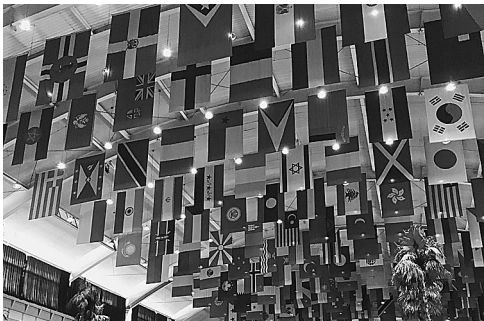
世界と日本と

東京学芸大学大学院

二年 上堂蘭 遼

十月十五日から十九日まで中国北京で行われた「The 4th Asian-African Youth Festival」に参加してきました。帰国し、中国がいったいどんな国だったか、そしてこれがどんなイベントだったのかを振り返っているけれども、私の一番の感想は「本当に忙しい五日間であつた」と言うことです。

六時半に朝食をとり、その後すぐにバスで出発しイベントに参加し、夜になって解散というスケジュールの毎日で、その後少し出かけたたりする人もいたようですが、日々の忙しさに私はついにイベント以外で一度



オープニングセレモニーの会場には、参加国の国旗が会場全体に掲げられていた



開会式会場のホテル。『千と千尋の神隠し』の舞台の様だと日本人同志で盛り上がった



グループに別れて行った活動。新聞紙を繋げて輪にし、輪の中を歩く。私たちのグループが優勝！



期間中に誕生日を迎えた参加者をサプライズで舞台上に上げ、祝ってくれた。手を挙げているのが私



小林拓磨さん

上堂蘭遼さん

回の旅で一番印象に強く残っています。

私が日本人だと知ると、皆日本について熱く語り出し、そしてほとんどが日本に来たことがあると嬉々として話すのです。対する私はというと、アフリカには行ったことがなく、アジアは中国、台湾、韓国にしか行ったことがないため、友人となった人たちの出身国には全く訪れたことがないのでした。

そこで互いの国について話をし、驚いたり理解したりしているうちに、自然と仲良くなることでできていました。ただ会話をしているだけだと思われるかもしれませんが、国際交流が行われたことを、身をもって感じたのです。

また、今回のイベント中に誕生日を迎えた私はClosing Ceremonyではサプライズでお祝いしてもらいました。その際多くの声をかけてもらったことも大きく思い出に残っています。

三五〇人を超える国際的なイベントに参加させていただき、本当に多くの人と話をする機会を得たことは、日本のこと、そして世界のことを考えるきっかけとなりました。普通の生活では決して経験することのできないような貴重な機会を与えてくださった、友愛の皆様、そして現地でお世話になった関係者の皆様、そして新しい世界各国の友人に感謝の意をお伝えしたいと思います。

ありがとうございます

「おもてなし」再考

千葉大学

三年 小林 拓磨

一〇月十五日から十九日までの五日間、アジア・アフリカユースフェスティバルに参加して参りました。友愛という精神の理解を深め、様々な方にそのあり方を知っていただき、世界平和と更なる幸福の実現の一歩として活動させていいただきました。

初日と最終日は移動のみだったので、実際に活動していたのは三日間でしたが、様々な国の方々と交流することが出来、充実した時間を過ごすことが出来ました。主な活動内容は、中国と各国の関係の更なる発展を目指す理解と交流を深めることで、お互いの理解を深めるアクティビティでした。具体的には、中国建国七〇周年を記念した発展の歴史を知ることが出来る展覧会に訪れた他、中国伝統のパンブーダンスの体験などをさせていただきました。私は今回の訪問で、中国



会場に参加各国の国旗が紹介された。カラーでお見せできないのが残念、正に国際色豊かな一瞬だ

の柔軟性に驚かされました。以前のイメージでは、大気汚染で常に空が曇っており、日本と同じようにアジア人が広く活動されていると思っていた。しかし空港に降り立ったときの空気の澄み具合は東京以上でした。私が、大気汚染のニュースを耳にしたのはまだ最近のことであつたと思いますが、そのようなことは全く感じさせないほど綺麗でした。他にも、路上に全くゴミが落ちていないことも衝撃でした。また、私たち日本からの学生達にもですが、アフリカからの方々にもそれぞれの国の言語を話すことの出来るボランティアの学生さんが付いてくださり、異なった背景をもつ人達とも活動できる人材の幅広さを感じました。私たちもこのような迅速な問題解決や世界を見据えた視野を身につけなければと感じました。

日本には「おもてなし」という素晴らしい文化があります。東京二〇二〇誘致の際にも使われたこの言葉



今回一緒にさせて頂いた日本からの参加者。皆さんエネルギーに溢れて。国旗を持っているのは筆者

は心のこもった待遇のことを指し、私たち日本人が重きを置く慣習の一つです。しかし、このおもてなしという言葉には、もてなす側ともてなされる側をはっきり区別する特徴があります。つまり、「内と外」を明確に分けてしまします。日本人対外国人という構図が、おもてなしという言葉には付随しているように思います。日本に同化したいと願う外国の方々や、国籍を二重にもつような方々にはこの構図が大きな壁とな

る。最後に、この素晴らしい事業に参加する機会をくださった公益財団法人友愛の皆様、中国で出会った素晴らしい方々、関係者の皆様ありがとうございました。

紙面の都合で『友愛時評』は休載いたしました。配送準備の関係から、遅れて届く地区があります。悪しからずお許しください。



中国建国七〇周年記念博覧会の入口に飾られている歴代主席の写真。これを見ているだけで圧倒される



中国建国七〇周年記念博覧会会場。中には右の写真の他、中国の近代史が解る展示が豊富にあった

編集後記

◆訪中に同行した三人の学生さんと数日を過ごし、若いて素晴らしいと改めて感じました。何よりその可能性、そして柔軟さ。「友愛」の未来に希望がもてます。老骨鞭打って頑張ろうという思いも湧き、可能性のお裾分けをいただいた気分。こいつあは暮から縁起がいいわいと、年越し(も)

京橋業務外包有限公司
提供在日商务服务

業務内容：会計、
労務、公司成立、
签证等行政業務


kyobashitax

**上毛資源株式会社**
JOSHIGEN

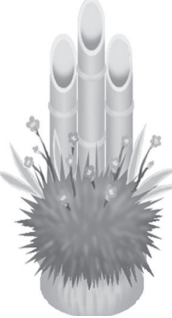
取締役
会 長 佐伯 詔一

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4
TEL027-251-7395 FAX027-251-7337
URL: <http://www.j-shigen.co.jp>

新宿瑠璃光院
白蓮華堂

大洞 龍明

新謹
年賀



公益財団法人 友愛

理事長 鳩山 由紀夫

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

有限会社 塩川建築工房

代表取締役 塩川 隆 司

長野県北佐久郡軽井沢町長倉5391-10
〒389-0111 TEL(0267)46-2440
FAX(0267)46-5440
<http://www.shiokawa-k-k.jp/>


FOR GENTILITY AND HUMANITY

代表取締役会長
小 川 巧 次

株式会社 ヴィアックス
本 社 東京都中野区弥生町 2-8-15 〒164-8677
DM事業本部 TEL:03(3299)6011 FAX:03(3299)6005
図 書 館 東京都文京区本郷5-23-12 鳩山ビル 〒113-0033
事業本部 TEL:03(3815)3788 FAX:03(3815)3135
URL <http://www.viax.co.jp>

電気設備工事・消防設備工事

有限会社 浅間電気商会

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉957-68
TEL0267-45-3443 FAX0267-45-2777

公益財団法人 友愛

評議員 萩原 直三

〒154-0003 世田谷区野沢2-33-5-1107

**ASKUL AGENT**
アスクルエージェント

オフィス用品通販 No.1
アスクルの法人登録は当社にご用命下さい。

株式会社 重 松 商 事
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-12-21
ディアシティ赤坂西館 5F
TEL:03-3588-1501 FAX:03-3588-1321


Made by Passion

ライブキャスト株式会社は
情熱をデザインするWeb制作会社です。

か は む ら りょう
代表取締役 香葉村 亮
東京都港区南青山 4-16-3 南青山オークビル3F
www.livecast.co.jp

総合建設業

**株式 会社 創心テクノス**
電話 0267-42-4067
軽井沢の不動産はお任せください

**株式 会社 創 心**
北佐久郡軽井沢町軽井沢東 230
電話 0267-42-0600

**東アジア共同体研究所**
財団 East Asian Community Institute World Forum
世界友愛フォーラム

理事長 鳩山由紀夫

遮熱・調湿・防臭できる塗料
ガイナ

**株式会社 ジュリン**

Tel 027-393-4812
<http://t-jurin.co.jp>

毎夕新聞印刷株式会社

代表取締役
会 長 川島 毅

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2
TEL03-3823-8511
FAX03-3822-0304

公益財団法人 友 愛 理 事
一般財団法人 人 間 塾 評議員

井 上 和 子

〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

公益財団法人 友愛

評 議 員 福田 八州雄

〒175-0082 東京都板橋区高島平7-43-15

NPO法人

**地球船クラブ**

理事長 武田記念男

株式会社 ニッセーデリカ

会 長 川手 正一郎

機能性セラミックの用途開発と磁器の芸術を追求する岩尾グループ

**IWAO** 十四代 岩尾 對山 窯

代表取締役社長
岩 尾 慶 一

岩尾磁器工業株式会社 岩尾エンジニアリング株式会社
佐賀県西松浦郡有田町外尾町内 1436-2 佐賀県西松浦郡有田町大樽2丁目1番5号
TEL 0955-43-2111 FAX 0955-42-9205 TEL 0955-42-9841 FAX 0955-43-2661
ホームページアドレス <http://www.iwao.co.jp/>


鳩山会館
<http://www.hatoyamakaikan.com>
文京区音羽 1-7-1

田島實税理士事務所

税 理 士 田 島 實

群馬県高崎市八島町 117 番地
Tel027-322-5450

ご要望に合わせておつくりします

こだわりを持ち続けて
静岡茶 小林園

お茶のご用命は
Tel054-352-3923

ご婚礼・ご宴会・レストラン・ケータリング
上野の森の結婚式場
上野精養軒

〒110-8715
東京都台東区上野公園 4-58 JR上野駅公園口・京成上野駅…徒歩5分
TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330 <http://www.seiyoken.co.jp>

あなたの気持を印鑑にそえて
はんこのプレゼント

**山崎印房**
ふみ みやこ
文の京にふさわしいこだわりと心
山崎印房 山崎 印房
〒113-0033 東京都文京区本郷4-17-5
Tel.03-3811-2876 Fax.03-3816-4759
・印章・ゴム印
・感謝状
・表彰状
の筆耕

中島肇行政書士事務所

遺言・相続の手続き
おまかせください

行政書士 中島 肇

〒379-0135 群馬県安中市郷原300-2
TEL027-385-1550 FAX027-385-0570

公認会計士 税理士

小林 広 治


Stiftung Deutsches Lied Japan

理 事 長
内田由利子

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-2-3
アライヴ人形町
☎ 03-3249-6788 FAX 03-5695-0125
☎ 090-3042-7818
web site : <http://djkg.org/> email : info@djkg.org

新幹線軽井沢駅から徒歩7分
格安料金で満足のおもてなし

軽井沢友愛山荘

Tel 0267-42-2477
<https://yuai-sansou.com>

けん玉の響きは平和のひびき
公益社団法人 日本けん玉協会



〒101-0051
千代田区神田神保町一丁目29番4号 祥宏ビル5階
TEL 03-6273-7766 FAX 03-6273-7760
URL <http://www.kendama.or.jp>


kondo group おかげさまで創業70周年

代表取締役社長
近 藤 純 子

株式会社 近藤組
本 社 〒448-8622 愛知県刈谷市一里山町伐払123番地
TEL(0566)36-1811 FAX(0566)80-1808
URL <http://www.kondo.co.jp/>
E-mail jkondo@kondo.co.jp

プリントサービス プロバイダー

有限会社 遠藤印刷

〒102-0072 千代田区飯田橋1-6-9
tel 03-3262-2031 / www.eqp.jp
東京都印刷工業組合 千代田支部 所属